

<u>CLASSE :</u>	<h1 style="color: blue;">絵本翻訳（仏→日）</h1> <h2 style="color: blue;">TrM-60L</h2>
<u>Jour :</u>	土曜日
<u>Horaires :</u>	10:00-11:50
<u>Niveau :</u>	A2
<u>M./Mme :</u>	M. ITO Keisuke
<u>Objectifs :</u>	<p>①フランス語の絵本作品を楽しみ、味わう。</p> <p>②物語を理解し、味わえるだけの読解力を身につける。</p> <p>③理解した内容が伝わる日本語を書く。</p>
<u>Descriptif :</u>	<p>各学期に3冊ほどの絵本を、テーマを決めて扱います。今期は、フランス語圏の古典的シリーズである《Martine》シリーズ(1954-2014)と《Caroline》シリーズ(1953-2007)から、「海のバカンス」を描いた2冊、<i>Martine à la mer</i>(1956)と<i>Caroline à la mer</i>(1965)を扱います。(フランス語の難易度はそこまで高くありませんが、3回で1冊を訳すため、毎回それなりの分量を取り上げます。)</p> <p>各回の授業は以下のように進めます。</p> <p>①ある程度の分量をまず一度予習として訳してもらいます。(義務ではありませんが、なるべく一度訳しましょう。)</p> <p>②授業では、みなさんの訳文を共有してコメントしつつ、文法や語彙の確認をしながら、作品を精読します。</p> <p>③授業後、希望者はもう一度訳文を提出してください。</p> <p>最終的に、それぞれが作品全体の自分なりの翻訳を作り上げることを目指します。</p>
<u>Matériel :</u>	プリント教材を使用します。
<u>Remarques :</u>	<p>絵本は、比較的平易なフランス語で書かれており、絵を見ればなんとなくのストーリーはわかるため、とっつきやすくはありますが、簡潔に練られている分、なぜそのように書かれているかまで含めて「ちゃんと理解する」ことは意外と難しいです。</p> <p>そこまで読み取って作品を味わいつつ、作品を読む楽しみまでを伝えられる日本語を目指しましょう。</p> <p>そして、今回扱う2シリーズは、たくさんの巻が出ていますので、授業の後でぜひ、授業で培った読解力を活かして別の話も読んでみてください。</p>